

ニ宅史平 みやび 歌人、エスプレラント運動家。明治三十四年十月十六日
島根縣邑智郡若谷村生れ（九〇一）。筆名みやけ・しんひ、Sikej M-
ijake、Mijake-Sikej、M.S. 等。大正十一年歌誌『心の花』同人、次
『新短歌』編輯、昭和四年『尖端』、翌年兒山歌一、津輕昭子等によ
る『短歌表現』に加はる。新短歌クラブの年刊歌集『新短歌』一九二
七年『昭和十一年十一月十日第一書房』の作品『これは倫理のない
風景であるか』五首が収載せられた。一方エスプレラントを學んで、雜
誌『エスプレラント』を編輯、小坂猪あさか（一等）の創設した日本エスプレラント
學會の事務理事を事務の機關誌『レゾオ・オリエンタ』の編輯にも當
りた。

譯書に、岡本綺堂著作『修禪寺物語』（昭和六年二月十日エスプレラント
研究社『BIBLIOTEKO DE JAPANA LITERATORO』）、『エスプレラント文藝
讀本・第三輯—シエイクスピア悲劇篇』（昭和十年五月二十五日台
本エスプレラント學會）、『レインボート・ショーウ』作『祖國の告ぐ』（馬場
清彦・飯島小江共譯、昭和十二年七月一日今日の問題社『ノーブル賞
文藝叢書』）、Alphonse Daudet 作『LETEROJ EL MIA MUELEJO. Kaj-
ero 1. (風車小雀だより)』、『Mijake-Sikej 各』昭和十四年四月十一
十五日台本エスプレラント學會『INTERNACIA BIBLIOTEKO DE JER』等。